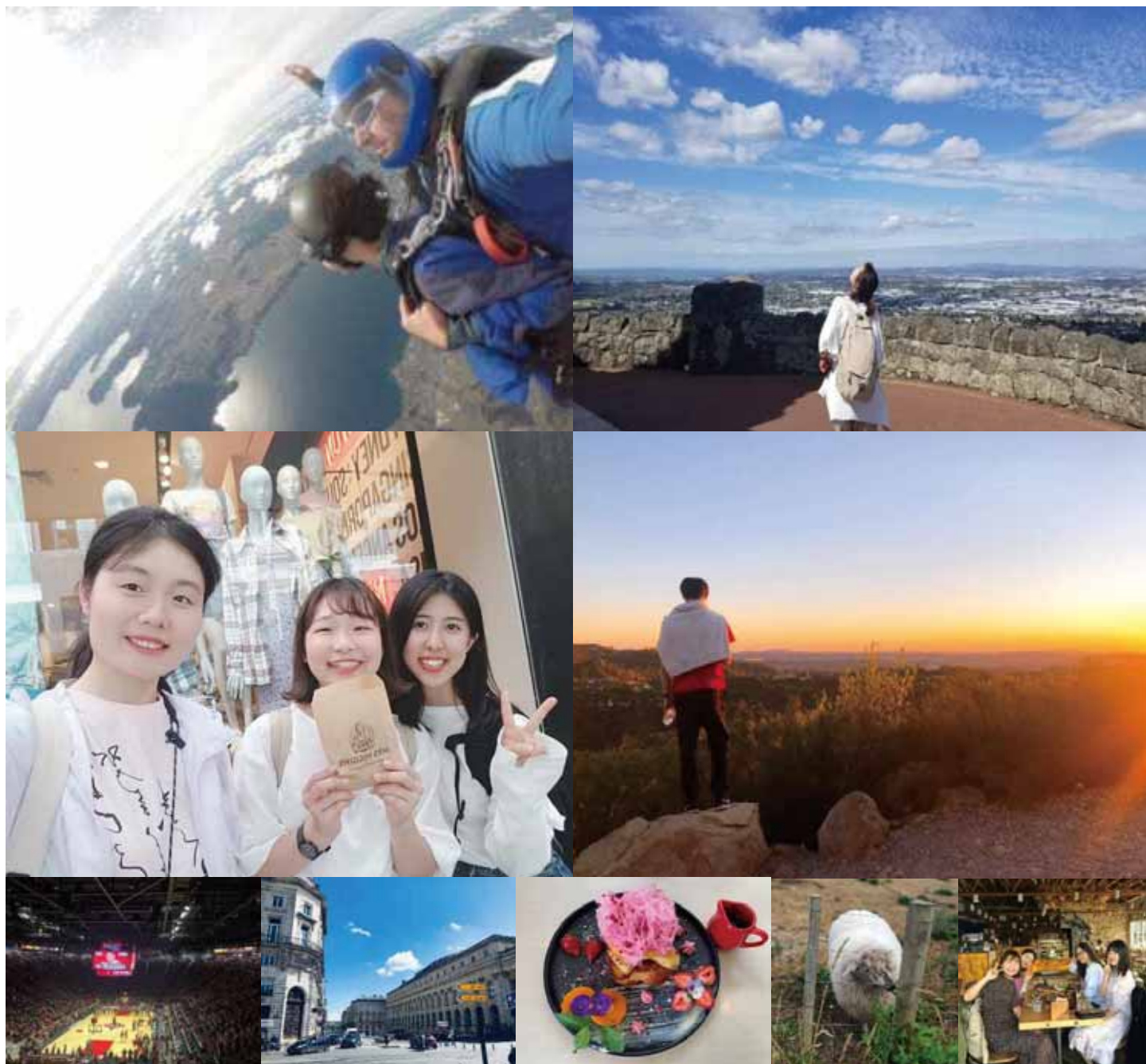


弘前大学 留学ガイドブック 2021

HIROSAKI UNIVERSITY STUDY ABROAD GUIDEBOOK



HIROSAKI
UNIVERSITY

目次

- 国際連携本部サポートオフィスとは、留学を決める前にやっておくこと→ Go to P1
- 留学に関する情報収集及び準備→ Go to P2
- 奨学金→ Go to P3
- 学内 TOEFL→ Go to P4
- 2020 年度オンライン留学→ Go to P5
- HIROSAKI はやぶさカレッジ→ Go to P6～7
- 協定校 交換留学・派遣先大学一覧→ Go to P8
- 短期留学→ Go to P8～9
- 留学経験者の声→ Go to P9 or P12～13
- 協定校紹介→ Go to P10～11

国際連携本部 サポートオフィス



国際連携本部 サポートオフィスは総合教育棟 2 階南側(イングリッシュラウンジ向かい) にあり、協定校のパンフレットやカタログ、留学情報誌や帰国者の留学体験記を揃え、留学に関する情報提供の他、留学相談を行っています。

【利用時間】

平日 8 時 30 分～17 時 00 分

土日祝日、お盆、年末年始は利用できません。

【留学相談】

国際連携本部の職員が留学に関するさまざまな相談や質問を受け付けています。留学することが決定していない段階でも大丈夫ですので、お気軽にお越しください。



相談予約メールアドレス
ryugaku@hirosaki-u.ac.jp



留学を決める前に やっておくこと

①説明会出席

※例年 5 月と 11 月に、留学ウィークと称し、留学や国際交流に関するイベントを 1 週間にわたって集中的に行っています。その他にも留学等に関するイベントを年に数回実施しています。

②情報収集&相談

※国際連携本部公式 SNS にて随時情報発信を行っています！

③計画を立てる

※「単位修得状況」「留学中の身分（在学又は休学）」「留学資金」「本学卒業後の展望（就職又は進学等）」「卒業時期」等を考慮し、留学前に十分な計画を立てておくことが必要です。

④学内 TOEFL を受験する

※英語圏の協定校へ半年から 1 年の交換留学をする場合、TOEFL のスコアの提出が必須です。TOEFL iBT の他、協定校へ留学する場合は、学内 TOEFL のスコアも利用できます。

☆国際連携本部 公式 SNS にて、本学学生向けの海外留学情報を発信しています。

Facebook



Twitter



Instagram



Youtube



Homepage



留学に関する情報収集及び準備

○説明会

例年5月と11月に留学ウィークと称し、留学や国際交流に関するイベントを1週間にわたって集中的に行っています。その他、協定校からの派遣教員や交換留学生による大学紹介やプログラム別（HIROSAKI はやぶさカレッジやトビタテ！留学JAPAN等）の説明会を行っています。

【令和元年度実施内容】

- ▽留学説明会
- ▽留学経験者や本学で学ぶ交換留学生による協定校紹介
- ▽インターナショナルナイト
- ▽留学×キャリアイベント
- ▽TOEFL 説明会及び海外ボランティア説明会

○留学生チューター

弘前大学で学ぶ外国人留学生が安心して大学生活を送れるように、学習面等のサポートをします。来日後の住居契約等の付添いをしたり、日本語で会話をしながら日本語を教えたり、留学生と日本人学生とのネットワークを作ったり等、活動は多岐に渡ります。

活動期間は1学期単位で、募集時期になれば、誰でも申し込むことができます。詳細は、国際連携本部 HP をご覧ください。

○弘前大学 イングリッシュラウンジ

英語で留学生と会話をしたり、英語力向上を目的とするテーマ別のセミナーに参加したりすることができます。セミナーの履修登録は不要で、自分の都合が良い時に自由に参加できます。パソコンも設置されていますので、英語の e-ラーニングや授業課題にも取り組むことができます。



○情報収集に役立つウェブサイト

- ・海外留学支援サイト（JASSO）
<https://ryugaku.jasso.go.jp/>
- ・留学ガイドブック「私がつくる海外留学」
<https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/guidebook/>
- ・海外留学奨学金パンフレット
<https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/>

○国際交流危機管理対応

学生の派遣先国・地域の社会情勢については外務省の海外安全ホームページ上の「危険情報」「感染症危険情報」レベルに基づき判断します。渡航形態を問わず、海外渡航の実施、中止、延期、継続、退避の判断をする場合これらを十分参考にしながら判断します。

詳しくは、

- ・外務省「海外安全ホームページ」
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ・弘前大学国際連携本部「国際交流危機管理対応マニュアル」
<https://www.kokusai.hirosaki-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/kikikanriH3102.pdf>

※渡航形態（旅行、留学、インターン等）及びプログラムの主催（所属学部、国際連携本部、弘大生協や学外の留学斡旋会社等）を問わず、海外へ渡航する場合には、クラス担任へ報告の上、自分の所属する学部・研究科の教務（学務）担当に、出国の5日前までに「海外渡航届」を提出する必要があります。用紙は各学部・研究科の教務（学務）担当窓口で配布しています。



現地担当者による
トンプソン・リバーズ大学
説明会

交換留学生による
中国文化大学紹介



奨学金

○弘前大学 国際交流基金助成金

- 対象：**① 3ヶ月以上の交換留学予定者
② 3ヶ月未満の協定校（英語圏）での語学研修予定者
③ 3ヶ月未満の協定校（英語圏以外）での語学研修予定者
④ 本学を通じて手続きを行う3ヶ月未満の協定校以外の大学等で実施されるプログラム
⑤ 英語圏の協定校への交換留学が決定した者

- 金額：**①② 4万5千円上限
③ 2万5千円上限
④ 3万円上限
⑤ 学内 TOEFL 受験料（1回分）相当額

併給：トビタテ、馬場財団は併給不可だが、それ以外は制限無し。

○馬場財団 国際理解教育人材養成奨学金

対象：次の全てを満たすこと。

- ① 決められた年度内に3ヶ月以上12ヶ月以内の海外留学を開始予定の者で、留学開始時に学部2年次以上又は教職大学院に正規生として本学に在籍する日本人学生
- ② 大学卒業後に初等中等教育教員になることを目指し、教職課程を履修する者又は修了し免許取得済みの者
- ③ 本奨学金の支援期間中、海外留学支援を目的とする他の奨学金の支援を受けない者（貸与型奨学金、学費免除及び一時金は除く）
- ④ 留学の目的と計画が明確で、修学の効果が期待できる者（留学先教育機関での履修科目の一つとして、教育課程論、カリキュラム論を選択することが望ましい）

- 金額：**月額奨学金として10万円、
留学準備金として（アジア地域） 15万円
（その他の地域） 25万円

併給：国際交流基金とは併給不可

※詳細は募集要項をご確認ください。

○トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム

対象：学生が自ら定めた明確な目的と意欲的な目標に基づき立案した実践活動の含まれる留学計画に沿って、決められた期間内に留学を開始予定の者

派遣留学生の要件：次の全てを満たすこと。

- ① 日本国籍を有する学生又は申請時まで日本への永住が許可されている学生で、日本の大学等において、卒業又は学位取得を目的とした課程に在籍し、年齢が30歳以下である者
- ② 本制度で実施する事前・事後研修及び派遣留学生ネットワーク（留学機運醸成のための活動等）に参加する学生
- ③ 日本の在籍大学等が派遣を許可し、留学計画書に記載された留学先機関が受入れを許可する学生
- ④ 留学終了後、日本の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する学生
- ⑤ 本制度において過去に派遣留学生として採用されていない学生

- 金額：**月額奨学金として12万円又は16万円（留学先国・地域による）
留学準備金としてアジア地域一律15万円、その他の地域一律25万円
授業料 一律30万円（条件あり）

併給：国際交流基金・大学基金は併給不可

※詳細は募集要項をご確認ください。

※この他にも案内可能な給付型や貸与型奨学金がある場合がありますので、国際連携本部までお問合せください。



○ひろだいアンバサダー

対象：派遣実績が全く無い又は近年無い協定校への交換留学が決定した学生で、アンバサダーとして活動意欲がある学生

金額：10万円又は5万円（留学期間による）

併給：制限無し

○岩谷元彰弘前大学育英基金

対象：成績優秀でかつ経済的理由により修学が困難な本学の学生

申請資格：次の全てを満たすこと。

- ① 学部及び大学院の修士又は博士前期課程又は専門職学位課程に在学する学生で年次ごとに相応の修得単位数があり、標準修業年限で卒業が見込まれる者
- ② 弘前大学における全履修単位の評定値の平均が2.75以上の者（大学院生は大学院における全履修単位を対象とする）
- ③ 家計支持者の収入・所得額が、日本学生支援機構第一種奨学金基準（学部用）を満たす者

金額：20万円

併給：制限無し

※詳細は募集要項をご確認ください。

学内 TOEFL について

英語圏（カナダ、アメリカ、ニュージーランド）の協定校へ半年から1年の交換留学を検討している方は、早めに学内 TOEFL を受験することをお勧めします。学内申請の時点で各協定校が要求する学内 TOEFL のスコアをクリアしている必要があります。

協定校への交換留学（長期留学）の応募時期は年2回あり、例年7月と1月となっています。7月に申込み場合は6月、1月に申込み場合は12月の学内 TOEFL が受験のラストチャンスです。2021年度の学内 TOEFL は4月、5月、6月、7月、10月、12月、1月の7回を予定しており、学内 TOEFL の申込み及び受験料支払いは弘大生協にて行ってください。

カナダ	語学センターの授業を履修したい	語学センターを経ずに、正規授業を履修したい	メモ
トンプソン・リバーズ大学	学内 TOEFL 400 点以上	TOEFL iBT 合計 88 点以上、かつ、各セクション 20 点以上	※語学センターは、レベル 1（初級）から 5（上級）の 5 段階に分かれており、レベル 4 以上になると、語学センターの授業と並行して、正規授業を 1～3 科目履修する。
マウント・ロイヤル大学	学内 TOEFL 400 点以上	TOEFL iBT 合計 86 点以上、かつ、各セクション 20 点以上	

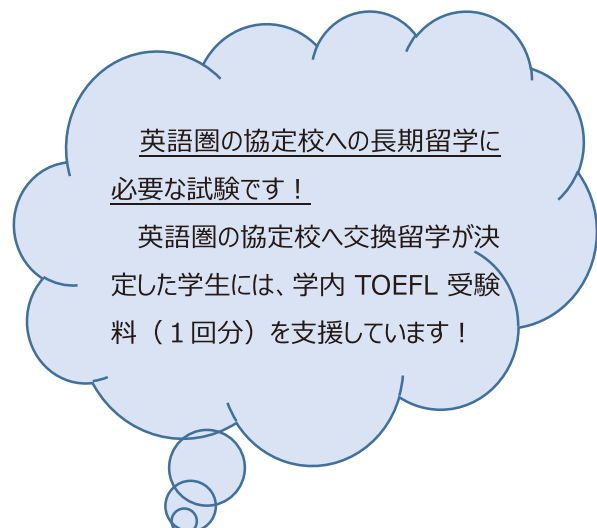
ニュージーランド	学術英語を学びたい	語学センターで語学力を上げた後に正規授業を履修したい	語学センターを経ずに、正規授業を履修したい	メモ
オークランド工科大学	学内 TOEFL 450 点以上		TOEFL iBT 合計 80 点以上	※学術英語は、ファンデーションコースの 1 つとして開講されている。英語圏の大学で学ぶために必要な英語力及びスキルを身につけるための授業。英語でのレポートの書き方やプレゼンテーションの仕方等、色々なスキルを学ぶ。
オタゴ大学			学内 TOEFL 525 点以上	

アメリカ	語学センターで語学力を上げた後に正規授業を履修したい	語学センターを経ずに、正規授業を履修したい	メモ
テネシー大学マーチン校		学内 TOEFL 500 点以上	
メイン州立大学		学内 TOEFL 550 点以上	
サンディエゴ州立大学	学内 TOEFL 550 点以上		
ハワイ大学コミュニティカレッジ	学内 TOEFL 500 点以上	※左記スコアはハワイ校、ホノルル校、カピオラニ校、リワード校、マウイ校、ウィンドワード校に適用。カウアイ校は学内 TOEFL 450 点以上。	

学内 TOEFL とは TOEFL ITP（団体向けテスト）の通称です。

公式テストの TOEFL iBT は、

- 受験料が US \$ 235（約 25,000 円～26,000 円）、
- 北海道・東北地区内の試験会場は、北海道、秋田、宮城、福島のみ、
- 個人で申込み（弘大生協では受け付けていません）です。それに比べて学内 TOEFL は、
- 受験料が 4,940 円、
- 開催場所は弘前大学、
- 弘大生協での申込みとなっています。



2020年度 オンライン留学

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、海外留学は叶わなかったものの、様々なオンラインプログラムに計61名の大学の学生が参加しました！

○参加オンラインプログラム一覧

- 2020年8月：カナダ・トンプソン・リバーズ大学主催【英語とカナダ文化を学ぶ】 15名
- 2020年8月～9月：タイ・チェンマイ大学語学センター主催【英語とタイ語基礎を学ぶ】 14名
- 2020年12月：タイ・チェンマイ大学主催【バーチャルプログラム】 10名
- 2020年12月～2021年2月：弘前大学国際連携本部主催【Coffee Hour】 15名
- 2021年1月～2月：韓国・慶北大学主催【オンラインウィンタースクール】 7名



チェンマイ大学・バーチャルプログラム

●プログラム満足度を聞いたところ、ほとんどの参加者が満足又はとても満足と回答した。

【参加者からの感想】

「コンテンツの充実について特に満足している。1時間程度だったが、(内容の)深さも広さも両方兼ね備えていた」
「今回初めてこのような海外の大学が行うプログラムに参加した。以前からこのようなプログラムに興味があり、良いきっかけになった」

「弘前大学の教養科目で英語以外の授業は受講したことがなく、他言語に触れられる良い機会になった」

「言語学習に加え、タイの文化やビジネスエチケットも学べ、日本との違いや新たな発見があり非常に面白かった」
「時間が指定されていないので、自分の空き時間に受講出来たのは魅力的だった」

Coffee Hour

●このプログラムには、留学経験がない学生も多く参加したが、英語や他の外国語、そして日本語を駆使して、協定校の学生と積極的にコミュニケーションを図る意欲的な姿勢を見ることができた。

●今回のプログラムを通して、オンライン上で海外の学生について知ることができたか聞いたところ、ほとんどの学生が知ることができたと回答した。

●今後同じようなオンラインプログラムがあれば参加したいか聞いたところ、受講者全員がはいと回答し、英語圏はもちろん、アジア等の非英語圏の国・地域とのプログラムを希望する学生が居た。

【オンラインプログラム参加検討中の学生へのアドバイス】

「自分の英語力に自身がなくても伝えようとする気持ちが大事」

「間違ふことを恐れず、積極性を持って取り組むこと」

「オンライン上でも自分と違った考えを持った人々と気軽に話し合いができるのは貴重な経験」

「参加するかどうか迷っているならまずは行動するのみ」

トンプソン・リバーズ大学【英語とカナダ文化を学ぶ】

●プログラムを受講し、英語力が向上したと感じたか聞いたところ、ほとんどの参加者がとても向上した又は向上したと回答した。

【参加者からの感想】

「One-to-One セミナー等のおかげで自分の平坦なイントネーションがネイティブに近くなったと思う」

「英語でチャットを打ち込んだり、宿題やバッジに取り組んだりすることによって文章を書く力が向上したと思う」

「プログラム1週目に聞き取れなかったのが、3週目には聞き取れていると実感できた」

「スピーキングについて、先生とのやり取りを通じて反射的に平易な英語で応答する練習になったと思う」

「授業内で音楽を聴いたり、動画を視聴したりすることでリスニング力が鍛えられたと思う」

HIROSAKI はやぶさカレッジ

「HIROSAKI はやぶさカレッジ」は、本学の学部1・2年生を対象とした、国際化が進む社会で活躍できる力を育成するための1年6月の教育プログラムです。英語圏又はアジア圏いずれかの国への短期留学が含まれており、その渡航費と授業料は本学が支援します。

【シミュレーション】 (カレッジエントリー時1年生後期)

- Step1 : 教養教育科目の英語科目の履修
- Step2 : イングリッシュ라운ジの利用開始
- Step3 : TOEIC 又は TOEFL を受験し、今の英語力をチェック (任意)
- Step4 : 「HIROSAKI はやぶさカレッジ」エントリー
- Step5 : 「HIROSAKI はやぶさカレッジ」応募、面接
- Step6 : 選考結果発表
- Step7 : カレッジ入校
- Step8 : カレッジ必修科目の履修
- Step9 : イングリッシュ라운ジセミナーの受講
- Step10 : 夏休み期間に短期留学
英語圏 (ニュージーランド) 又はアジア圏 (タイ) へ
- Step11 : 学内 TOEFL 受験 (修了判定のため)
- Step12 : 修了報告・発表
- ☆GOAL☆ : 修了【はやぶさグローバルリーダー】

1 年生前期～後期



1 年生後期 (11 月末頃)
1 年生後期 (1 月末～2 月)
1 年生後期 (3 月末)
2 年生前期 (4 月頃)



2 年生前期 (8 月～9 月)
2 年生後期 (10 月頃)
2 年生後期 (12 月頃)
2 年生後期中

2020 年度はやぶさカレッジ 7 期生の主な活動



タイ

- 2020年8月～2020年12月 (5ヶ月間)
- ①コンケン大学現地学生とのタンドム学習

- 2020年9月14日～2020年9月25日 (10日間)
- ②チェンマイ大学語学センター主催・オンライン講座



ニュージーランド

- 2020年8月～2020年12月 (5ヶ月間)
- ①オークランド工科大学現地学生とのタンドム学習

- 2020年9月14日～2020年9月25日 (10日間)
- ②オークランド工科大学語学センター主催・オンライン講座

はやぶさカレッジ7期生 体験談

体験談の内容

- ①得たこと、カレッジ入校前と比べて変わった自分の考え方、オンライン上での海外体験について
- ②はやぶさカレッジへの入校を考えている後輩へアドバイス

ニュージーランド

●農学生命科学部 2年生

①「問題解決力」が身に付いた。自分で決めたテーマの問題をどのようにしたら解決できるか、様々な方面から考えることができた。私は今まで、あることが不可能になるとそのまま不可能のまま考えてしまっていたが、その不可能をどのように可能に変えるかが大事なことだとわかった。

今回、海外現地留学をすることはできなかったが、オンラインで現地学生との交流や講義を通して日本と違う習慣、文化、考えを学ぶことができた。特に、日本語を学んでいる現地学生との交流では、さまざまな意見交換ができ、自分にはない考え方を知ることができた。私は初対面の人と話すのが苦手だが、回を重ねるごとに話すことに対して抵抗を感じなくなった。母国語が違って英語で考えを述べ合うのは楽しいと気づくことができた。

②はやぶさカレッジでは各自のテーマについて青森県と留学先を比べ、その留学先から学んだことを参考に提言をする。青森県について深く考えるとともに人々に行動を促すような活動を考えるのは大変だったが、とても有意義だった。また、カレッジ生同士で意見交換もできたので良い刺激になった。はやぶさカレッジを通して自分自身を見つめ直すきっかけにもなるので、ぜひ積極的にエントリーしてほしい。

●人文社会科学部 3年生

①文献に関する資料の調査能力が身に付いたと思う。7期生の私達は、現地留学ができず、現地での調査が全くできなかった。現地学生とのオンライン上での交流はあったが、不足する情報を補うため、論文や文献での調査をしなければならなかった。結果として、それが大学生活での情報収集が必要な場面で役立っているように感じる。

また、いわゆる先進国ではない国に対する自身の意識の変化を感じた。海外と言うとすぐに欧米諸国を思い浮かべがちだが、例えばオセアニアの島嶼部の国々の文化を、私たちは海外の文化の枠組みの中に入れて考えているだろうか？知らず知らずのうちに、私たちは海外の文化を考える時、欧米諸国の文化を連想しがちだ。私だけかもしれないが、そうした日本的な視点での海外に対するイメージは、実際にその文化と対峙しなければ更新されないと思う。たとえ、オンライン留学だとしても画面越しにリアルタイムで語る異国の学生の口からは、彼らの持つ文化の豊穡さが十分伝わってきた。自身の偏狭な視野を発見できたことが今回の留学で得られた大きな収穫だと思う。

②はやぶさカレッジでは、自身の興味を深め適性を探るのに絶好の機会だ。なぜなら、はやぶさでの研究テーマは所属する学部に関わらず、各人が自身の興味に合わせ研究できるからだ。一例をあげると、私の専攻は多文化共生だが、NZにおける刑事司法政策と日本における適応可能性について研究した。自分の興味を深め、一つの形として提出することは、きっと卒論を書く際にも役立つと思う。語学に関しては、研究で英語の文献等を読んでいくうちに自然と身につくので、さほど心配はいらないと思う。

タイ

●農学生命科学部 2年生

①英語や海外を学ぶことがメインではあったが、さまざまな考え、性格、視野の持ち主に出会えたことも良かった。はやぶさの仲間は普段から学問に意欲的、志が高い、向上心がある等、本当に一人一人が尊敬できる、私もさらに頑張らなければと刺激をもらえる人達だった。私は特別海外好きではなかった。しかしはやぶさカレッジを通して何か今までとは違う経験ができればと思ひ応募した。結果、はやぶさカレッジを通して、自分が思っていたよりも海外は興味深いもので、海外のニュースを見たり、日本で当たり前文化が他国では通用しないものだったり、別の考え方や方法だったことから、今までの考え方が一変し、柔軟に豊かになったと感じる。

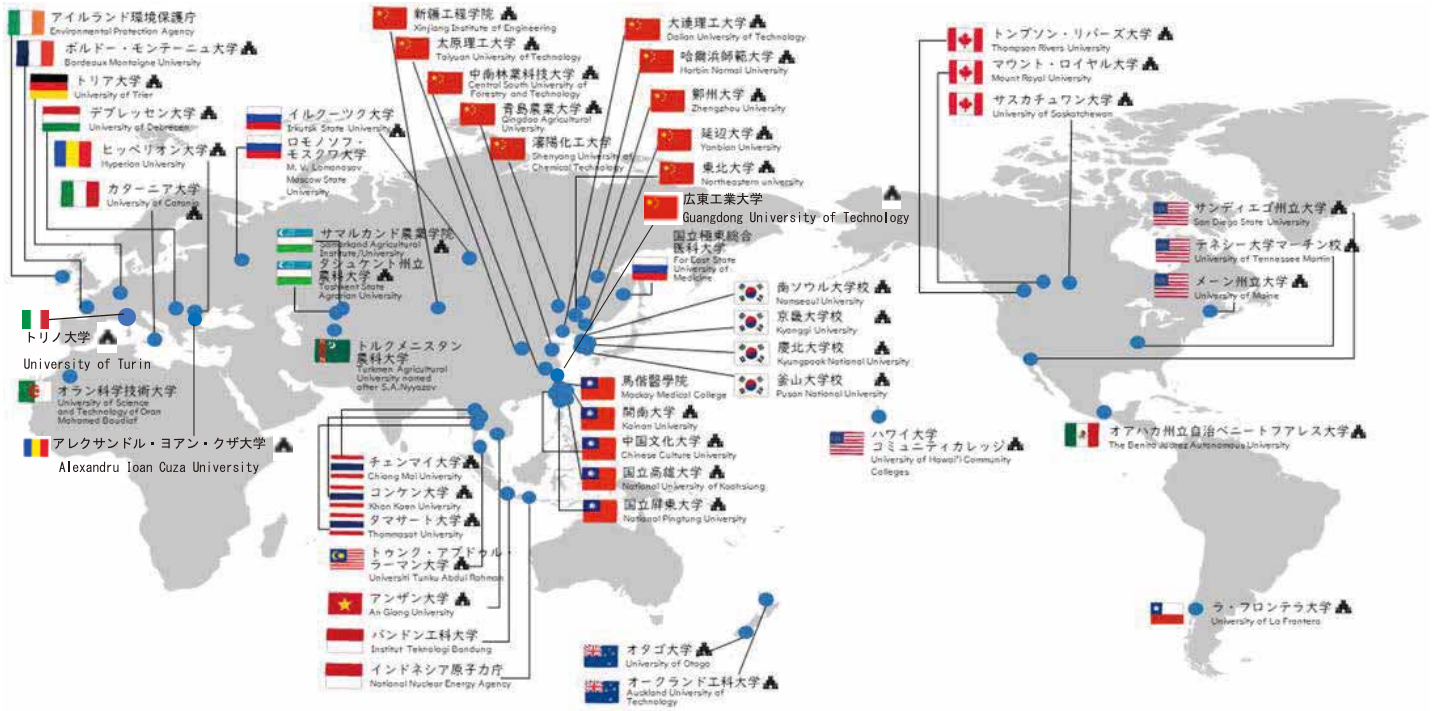
②英語が苦手だからと迷う人がいると思うが、諦めず挑戦してほしい。なぜなら、はやぶさカレッジでは、英語力の他にも、プレゼン能力、協調性、自他の国を理解し認める力、積極性等も必要だからだ。私は英語を苦手としていたが、今では参加して良かったと思う。あくまでも自分でテーマを設定し、自由にまとめる。英語を苦手とする人も得意とする人も絶対に成長があると私は思う。やらなければならないことは多いがこのごでの取り組みは、今この瞬間でしか全力を注げないと思う。はやぶさカレッジが修了すれば就職、卒論、日々の生活等で時間はなくなるので、やりたいと思ってても難しいのが現状だ。なので良い環境がある今こそ、とことん追求し、悔いのない活動にしてほしい。

●人文社会科学部 2年生

①私は、はやぶさにエントリーする前から、世界の文化や物の考え方の多様性について人より、よく知っているつもりだった。しかし、実際に外国人と接する機会はほとんどなく、私が通常の講義で得た知見は「世界は多様性に溢れていて、それを否定せず認めなければならぬ」という具体性に欠けるものだった。その曖昧な考え方がはやぶさカレッジに参加して変わった。特に私の固定観念に影響を与えたのはタイのコンケン大学の学生とのタンデム学習だ。タンデム学習は、4つのテーマを大学側から与えられて、それらについてお互いにインタビューし合うというものだった。趣味や家族等の個人的なことから、日本とタイのコロナ対策、タイの仏教文化まで幅広くインタビューを交わし、それらを英語でレポートにまとめることで、タイのみならず日本の文化を再確認することが出来た。

②はやぶさカレッジ以外の留学を経験したことがない私が比較するのは望ましくないと思うが、はやぶさは普通の留学よりも大学側から要求されることが多いと思う。渡航費や活動費などを大学側が負担しているし、大学側が提供する留学プログラムなので当然のことだが、その要求と自分のやりたいことが多少ズレてくることもあるかもしれない。私の場合、最初はただ海外の文化を深く知ることだけが目的だったので、修了報告課題「地域社会の問題に対する提言」を完成させるのに苦労した。しかし、こういった学問の本来の目的であろう真理探究と、社会への還元・貢献の二つをうまく繋げることは後の研究、あるいは仕事でも必要なことだと思う。特に私は人文社会科学部で、工学部等とは違って研究成果がそのまま人の役に立つことを主張するのが難しい立場にあるので、はやぶさでこれらの擦り合わせを経験できたのは良かった。是非、はやぶさの過程で何か上手いかわからなくても、前向きに考えながらやってみてほしいと思う。

協定校 交換留学・派遣先大学一覧



※ マークの無い協定大学・機関は、教職員派遣のみ。

協定留学の派遣先

協定校 短期留学

夏休み語学研修

エリア	総額費用目安	留学期間
アジア	15～25万円	1～2週間
オセアニア	37～58万円	2～6週間
北米	45万円	3週間
ヨーロッパ	37～38万円	2～3週間

春休み語学研修

エリア	総額費用目安	留学期間
アジア	17～18万円	1～2週間
オセアニア	37～58万円	2～6週間
北米	45万円	3週間
中米	30万円	4週間

※総額費用目安は、渡航費、保険料、授業料、住居費、小遣いを含んだ金額です。



春・夏休み短期留学体験談

教育学部2年生 ニュージーランド・オークランド工科大学【春休み短期2週間】

留学の動機：

教育学部のプログラムでメイン州立大学（アメリカ）での3週間の留学プログラムに参加し、他国の文化を学ぶことや、他国の学生と交流することの楽しさを感じ、もう一度留学を決めました。学部の実習等との兼ね合いもあり、短期留学を選びました！

思い出：

最終日の卒業式後、会場から戻るとクラスメイトが待っていてくれ、お別れの挨拶をしてくれました。みんなよりも英語が話せず授業中も助けてもらってばかりでしたが、最高のクラスメイトと思い出に残る2週間を過ごすことができました。

困ったこと・大変だったこと：

ニュージーランド人の英語は速くて聞き取るのが難しいと感じました。授業が朝8時開始だったのですが、滞在先からのバスの関係で7時前にはバスに乗らなくてはならなかったのが大変でした。



医学部3年 ニュージーランド・オークランド工科大学

【春休み短期4週間】

留学の動機：

1年生の時に2週間のプログラムで語学留学をした際、初海外ということもあり、ちょうど環境や英語での会話に慣れ始めた頃にプログラムが終了してしまいました。在学中にもう一度留学に行くことを考えていた時、「留学経験者による報告会」に参加し、話を聞く中で留学について改めて具体的に考えるようになり、学部のカリキュラム上、3年生の春休みしかチャンスが無かったので、今回参加しました。

思い出：

友人らと一緒に訪れたワイヘキ島のワイン畑の草むらで、そこに来ている人々を真似て横になり少し昼寝をしたことです。快晴で暖かく、開放感漂う空気の中、皆で笑い合いながら横になったそんな何気ない出来事がとても良い思い出となりました！

留学を通して学んだこと：

生まれ故郷の言葉、宗教、性別や年齢等、皆それぞれ異なる中、意見交換をし、ちょっとしたことで笑い合ったりする毎日を通し、本質的には人は皆同じであるということに改めて学ぶことができました。それと同時に、自分自身の中で勝手に決めていたことや考え方のくせにも気づき、自覚していなくても偏見があること、日々の生活の中で偏見が生まれやすいこと、そしてそれらが日常の中でも起こりうるちょっとした差別や争いに繋がりがやすいということに気づかされました。

教育学部2年 ニュージーランド オークランド工科大学【春休み短期6週間】

留学先を選んだ理由：

治安の良さや多国籍な面に惹かれました。教育学部のプログラムでアメリカに行ったことがあったため、気候が真逆の場所で異文化体験をしたいという思いから選びました。

思い出：

タウポでスカイダイビングをしたことです！目の前にはタウポ湖の素晴らしい景色が広がっていて感動しました。

困ったこと・大変だったこと：

ニュージーランド人はプリティッシュ英語なうえ早口で、聞き取るのに苦労しました。バスに乗る時は、ただ待っているだけではバスは止まってくれないので手を挙げて知らせ、日本との違いに戸惑いました。

留学を通して学んだこと：

授業中、他国からの留学生は発言が多く、日本人の発言が圧倒的に少ないと感じました。他国からの留学生は英語の文法ミスを恐れず、自信を持って発言していたので、自分の英語に自信がなくても、まずは発言をしようとするのがどれだけ大事なのか思い知らされました。



協定校 交換留学

開南大学 Kainan University

台湾・桃園市蘆竹区



- 学期時期：
秋学期【9月-1月】
春学期【2月-7月】
- 費用例：
約80万円（2学期間）
- ロケーション：郊外
- 滞在施設：学生寮、大学提携マンション

● 受講可能科目：人文社会科学部応用中国語学科で開講されている科目、全て英語で講義が行われる International Honors Program (IHP) の科目（※TOEFL iBT60点以上、又はTOEIC650点以上、IELTS5.0以上の成績証明書が必要）、その他の科目（※要授業担当教員の許可）

● 概要：2000年に開南管理学院として設立された新しい私立大学。桃園国際空港が近いことから観光運輸学部が有名。キャンパス内は大きな湖や芝生、緑あふれる環境に囲まれ、学生が心地よいキャンパスライフを送れるようになっている。国際交流が盛んで、20カ国104校の大学と交流協定を締結している他、学内に大学附属のアメリカンスクールを設置している。

慶北大学 Kyungpook National University

大韓民国・大邱広域市



- 学期時期：
春学期【3月-6月中旬】
秋学期【9月-12月中旬】
- 費用例：
約90万円（2学期間）
- ロケーション：都市部
- 滞在施設：学生寮

● 語学堂：平日4時間授業、毎日小テストあり

● 他の受講可能科目：韓国語、英語で開講される正規授業（外国語、歴史、文学、会計、経済、数学、生物、化学、工学、データ分析等）、インターンシップ

● 概要：ソウル、釜山に次ぐ、韓国第三の都市の大邱にある、地域を代表する国立大学。55の国と地域、390の大学・研究機関と交流協定を締結し、1,354名の留学生在籍する等、国際化に力を入れている。留學生のための現地学生による韓国語学習や韓国での生活をサポートするチューター制度も充実している。

トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学

University Tunku Abdul Rahman

マレーシア・ペラ州



- 学期時期：
1学期【1月上旬-5月中旬】
2学期【5月下旬-10月上旬】
3学期【10月中旬-1月初旬】
- 費用例：
約80万円（3学期間）
- ロケーション：郊外
- 滞在施設：大学提携アパート

● 受講可能科目：英語で開講される正規授業（会計・ビジネス・経済、人文社会科学、教育、数学、農学・食品科学、デザイン、工学、コンピュータサイエンス、生物、化学等）※IELTS5.5~6.0以上

● 概要：2002年に創立された私立大学。原則全ての授業が英語で開講されている。英語学習プログラムや異文化交流プログラム等が充実し、留學生の受け入れ体制も整っている。キャンパスは都市部から離れたところにあり、居住環境が良く、物価が安い。

メイン州立大学 University of Maine

アメリカ・メイン州



- 学期時期：
IEI【3月-8月】
学部【9月-12月】
- 費用例：
約120万円（10ヶ月）
- ロケーション：郊外
- 滞在施設：学生寮、民間アパート

● 語学センター：Intensive English Institute (IEI) 夏・秋プログラム

● 他の受講可能科目：正規授業

● 概要：森林に囲まれた、自然豊かなキャンパス。キャンパス内には、学部棟のほかに、アイスホッケー場、アメリカンフットボール競技場、野球場、レクリエーションセンター等がある。工学、海洋科学、物理学・表面科学、生物・生態学、林業・農業等の研究に強い大学。メイン州を代表する総合大学であり、専攻分野は100近くある。

トンプソン・リバーズ大学 Thompson Rivers University

カナダ・ブリティッシュコロンビア州



- 学期時期：
【5月-8月】
【9月-12月】
- 費用例：
約160万円（8ヶ月）
- ロケーション：郊外
- 滞在施設：学生寮、ホームステイ

● 語学センター：語学センターは、レベル1（初級）から5（上級）の5段階に分かれており、レベル4以上になると、語学センターの授業と並行して、正規授業を1~3科目履修できる。

● 他の受講可能科目：正規授業

● 概要：カナダ西海岸のブリティッシュ・コロンビア州にある1970年創立の公立大学。100カ国以上から集まる約3,500人以上の留學生を含む1万4000人の学生が学ぶ。日本出身のスタッフが居る他、留學生のサポート体制が整っている。世界最高水準のレクリエーション施設を誇り、少人数クラスできめ細かな指導を行っている。大学周辺の治安も良く、安全な環境と比較的安価な生活費も魅力の一つ。

オークランド工科大学

Auckland University of Technology

ニュージーランド・オークランド



- 学期時期：
【2月-6月】
【7月-11月】
- 費用例：
約110万円（10ヶ月）
- ロケーション：都市部
- 滞在施設：学生寮、ホームステイ

● 受講可能科目：ファンデーションコースで開講されている学術英語、正規授業

● 概要：ニュージーランド最大の都市にある1895年創立の公立大学。ニュージーランド国内で卒業生就職率がとても高く、企業や産業との強い繋がりがあり、将来必要とされる技術を学ぶ事が出来る実務的な分野が多く開講されていることも特徴の一つ。100カ国から5,400人以上の留學生が在籍する国際的な大学として注目されている。コンピュータサイエンス、工学、アート、デザイン、経営学、経済学、ホスピタリティ等の研究において、高い評価を得ている。

大連理工大学 Dalian University of Technology
中国・遼寧省大連



- 受講可能科目：中国語（初級、中級、上級）、英語で開講される正規授業（国際経済・貿易、機械デザイン・製造、化学工学、土木工学等）
- 概要：理工系に強い総合大学。理工系のほか、経済、文学、法学、哲学、芸術等の学部・学科を有す。留学生の受入れに積極的な大学だけあって、世界各国からの留学生が多い。キャンパス周辺には、レストランやスーパー等があり、日常生活を送る上で不自由することはない。中国国内において難関校として名高い大学なので集まってくる学生も優秀な学生が多い。

- 学期時期：
春学期【3月初旬-7月上旬】
秋学期【9月初旬-1月下旬】
- 費用例：
約90万円（2学期間）
- ロケーション：都市部
- 滞在施設：学生寮、ホームステイ

チェンマイ大学 Chiang Mai University
タイ・チェンマイ



- 受講可能科目：タイ語、正規授業（建築、経済、工学、理学、デジタルイノベーション、看護、人文・社会科学等）
- 概要：1964年に設立された地方都市初の国立大学であり、17の学部と3つの研究所を持つ、学生総数2万4千人を擁する総合大学。東京ドーム80個分の自然に囲まれた巨大なキャンパス内には、図書館やスポーツ施設等の学生向け施設が多数ある。日本の20以上の大学と協定を結んでおり、交流も盛んに行われている。

- 学期時期：
1学期【6月-10月】
2学期【11月-3月】
- 費用例：
約50万円（2学期間）
- ロケーション：郊外
- 滞在施設：大学のホテル、学生寮

ボルドー・モンテーニュ大学
University Bordeaux Montaigne
フランス・ボルドー



- 受講可能科目：フランス語、フランス語で開講される正規授業
- 概要：1441年に創立された文学、言語、歴史、コミュニケーション等の人文学系の専攻を持つ国立大学。日本語学科があり、沢山のフランス人が日本語を学ぶ。大西洋に近く、ワインでもその名が有名なボルドーに立地し、数ある有名シャトーはもちろん、フランスで最も美しいといわれる大劇場や、大聖堂等が多く残る、歴史のある文化的な街で学ぶことができる。

- 学期時期：
春学期【1月中旬-5月中旬】
秋学期【9月初旬-12月中旬】
- 費用例：
約70万円（2学期間）
- ロケーション：都市部
- 滞在施設：民間アパート、寮

トリノ大学 University of Turin
イタリア・ピエモンテ州



- 受講可能科目：イタリア語、英語で開講される正規授業（ビジネス、外国語、経済、法学、歴史、物理、バイオテクノロジー、数学等）
- 概要：1404年に創立されたイタリアで最も伝統のある総合大学の1つ。農林食品科学部、人文学部、外国語及び国際文学並びに現代文化学部、数学部、哲学・教育科学部、物理学部等の27学部を有し、学部学生約79,000人、大学院学生約2,500人が在籍する。

- 学期時期：
1学期【9月-2月】
2学期【3月-7月】
- 費用例：
約100万円（2学期間）
- ロケーション：都市部
- 滞在施設：民間アパート、寮

トリア大学 Trier University
ドイツ・トリア



- 受講可能科目：ドイツ語、英語で開講される正規授業
- 概要：ドイツ最古の町といわれるトリアにある大学で、学部のほとんどは文系学部で構成されている。大学図書館の蔵書数は約150万冊ほどで、日本の図書も充実しているほか、日本の新聞等も読むことができる。近年では国際化に大きく力を入れており、世界各国から多くの留学生を受入れており、留学生向けのサポートも充実している。

- 学期時期：
夏学期【4月中旬-7月下旬】
冬学期【10月中旬-2月中旬】
- 費用例：
約100万円（2学期間）
- ロケーション：郊外
- 滞在方法：学生寮

マウント・ロイヤル大学 Mount Royal University
カナダ・アルバータ州カルガリー



- 語学センター：Language Education for Academic Purposes (LEAP) program
- 他の受講科目：正規授業
- 概要：1910年にカレッジとして創立され、2009年に大学となった歴史を持ち、高等教育機関としてはアルバータ州で最も歴史のある大学。特にビジネスが有名な大学だが、エコツーリズム&アウトドアリーダーシップ、幼児教育等の分野も学生から人気がある。緑あふれる広大な美しいキャンパスが魅力的。

- 学期時期：
4月-6月
7月-9月
9月-12月
1月-3月
- 費用例：
約140万円（約9ヶ月）
- ロケーション：都市部
- 滞在方法：学生寮、民間アパート、ホームステイ

※ここに記載されていない協定校の情報は、別紙にて準備しています。詳細が知りたい方は、サポートオフィスまでお越しください。

協定校交換留学 体験談

協定校交換留学体験談

アンケート内容

- 所属学部 留学先国・地域 大学名
- ①交換留学以外の留学経験
 - ②交換留学中の弘前大学での身分
 - ③休学を選択した理由
 - ④交換留学当時の弘前大学での学年
 - ⑤留学内容・種類
 - ⑥奨学金
 - ⑦参加した課外活動
 - ⑧印象に残っている思い出

人文社会科学部

フランス・ポルドー・モンテーニュ大学

- ①有り【高校2年：冬に1週間カナダとアメリカへ SGH 学校プログラムに参加。大学2年：夏に2週間ベトナムへ武者修行海外ビジネスインターンシップに参加。大学3年：夏に3週間シンガポールへ SSHP の海外ビジネスインターンシップに参加。
- ②休学【1年間】
- ③卒業が1年遅れることに抵抗はなく、留学に集中したかったため。
- ④3年
- ⑤語学留学（語学センター）
- ⑥無し
- ⑦日本人とフランス人のコミュニティ・サークル「パンとおにぎり」に所属し友達を作った！
- ⑧連休を使ってパリやスペイン等へ旅行に行った。その他、友人と映画を見たり、現地ですでた友達の実家で開かれたクリスマスパーティーへ招待していただいたりして、フランスの文化に触れることができた！



教育学部 イタリア・カターニア大学

- ①無し ②休学【1年間】
- ③必要だったため。
- ④4年 ⑤学部の正規授業を受講
- ⑥独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）【100万円】
- ⑦特になし
- ⑧誕生日を現地の友人にお祝いしてもらった！



（ワーキングホリデービザ期間中の活動）

ワイナリー体験談

特に思い出に残っているのは、フランス・ロワールでのある方との出会いです。交換留学以外の時間は、幾つかのワイナリーで働いていました。しかし、ちょうど次のワイナリーを探していた8月頃は長期間のバカンスを過ごす方が多く、なかなか受入れてくれるところはありませんでした。こちらも合計約150軒程度のワイナリーにメールを送り続け、1つのワイナリーから良い連絡が来ました。そのワイナリーでは、日々の農作業もそうですが、フランス料理と韓国料理のコラボイベントや近隣のワイナリー訪問等色々な体験をすることができました。特にワイン造りにおける哲学がとても興味深く、自分がワイン醸造家を目指すきっかけになった思い出のワイナリーです。



農学生命科学部 ドイツ・トリア大学

- ①有り【2014年アメリカへ3週間の語学留学。2018年2週間のドイツ交流事業に参加】
- ②休学【半年間】
- ③大学の単位に縛られず留学に専念するため。
- ④3年
- ⑤語学留学（語学センター）
- ⑥弘前大学基金留学費用助成金（欧州）【8万円】
弘前大学国際交流基金【4万5千円】
- ⑦Softball KamiKatzen というソフトボールのサークルに所属し活動した。放課後に他の留学生とタンデムを行った。
- ⑧タンデム学習のパートナーや友人と旅行に出かけた。寮の自室でパーティーを開く等して楽しかった！



人文社会科学部 韓国・京畿大学

- ①無し
- ②休学【半年間】
- ③留学を決めた時、既に4年生で休学以外の選択肢がなかったため。
- ④4年
- ⑤語学留学（語学センター） & 学部の正規授業を受講等
- ⑥ひろだいアンバサダー【5万円】、弘前大学基金留学費用（アジア圏）【5万円】
- ⑦現地学生の方が有志でやっていた、留学生向け韓国語教室に参加した。黒板に向かって勉強する大学の授業とは違い、人と対面で話すことを中心に丁寧な指導をもらった。最終日には参加者全員で韓国料理を作って食べ、どれも良い経験になった！
- ⑧大学が京畿道にあって普段は大学の近くを往来していたが、大学の長期休暇を利用して、釜山に住んでいる友人に会いに行った。その時1人で高速バスに乗り、予約から自分で段取りを組むのは初めてでとても緊張したので、現地で友人と再会できた時はとても嬉しかったことを覚えている。



農学生命科学部 ニュージーランド・オークランド工科大学

- ①無し
- ②休学【1年間】
- ③長期で私費留学をするのに、休学は必要だったため。
- ④3年
- ⑤語学留学（語学センター）
- ⑥無し
- ⑦休み時間にクラスメイトと会話する中で異文化交流ができた。
- ⑧語学学校附属の寮生活で多国籍の友達と親交を深められた。



教育学部 アメリカ・サンディエゴ州立大学

- ①有り【2016年カナダ・マウントロイヤル大学へ3週間の語学留学】
- ②休学【1年間】
- ③単位認定が難しく、休学を伴わない留学が厳しかったため。
- ④4年
- ⑤学部の正規授業を受講等
- ⑥弘前大学基金留学費用助成金（英語圏）【10万円】
ひろだいアンバサダー（5ヶ月未満）【5万円】
- ⑦授業外では、図書館で勉強することが多かった。その他の空き時間には、友達と大学内にあるプールで泳いだり、ジムでトレーニング、体育館でバスケットボールをしたりした。月2,000円で学内にある設備（プール、ジム、ボウリング場、体育館等）を使い放題だったのでよく利用していた。
- ⑧友達と参加した日本とは違う賑やかなパーティーではたくさんの人と交流する良い機会になった！ハイキングに行った時は、アメリカの自然の壮大さに驚いたのを今でも覚えている。他にもビーチへ出かけ、楽しい時間を過ごすことができた！





弘前大学 国際連携本部サポートオフィス
〒036-8560
青森県弘前市文京町1 総合教育棟 2階

平日 8:30~17:00
電話 : 0172-39-3124
d-iec@hirosaki-u.ac.jp